



### 桑名の小中一貫教育Q & A

**Q.** これまでも小中が連携した教育を進めていたと思いますが、小中一貫教育との違いは何ですか？



**A.** 本市では、平成19年度から中学校生活説明会や部活動見学など学校や地域の特性に応じて小・中学校の円滑な接続を実現する小中連携事業が行われてきました。これまでは、小学校6年生と中学校を連携してつなぐという考え方でしたが、これからは、小・中学校が同じ課題意識をもち、義務教育9年間を通じて、学習指導要領に示す「新しい時代に必要な資質・能力の育成」に向けて、日常の教育を系統的かつ連続的に行っていこうとするものです。

**Q.** 桑名市小中一貫教育基本方針には、「中学校ブロックを単位として取り組む」とありますが、1つの小学校から2つの中学校へ分かれて進学する子どもたちが困ることはありませんか？

**A.** 中学校ブロックとは、小中一貫教育を行っていくための便宜的な取り組みの単位です。どの中学校ブロックにおいても、学習指導要領に基づいた教育活動を行い、本市として同じ目的の実現に向け、方向性を統一して行うものであり、どの中学校へ進学しても困ることはありません。また、近隣の中学校ブロック同士で、小中一貫教育に関わる取り組みや子どもたちの交流行事等の日時・内容については、共有・調整を図って進めていきます。

**Q.** 来年度からの小中一貫教育で、施設や進学先の変更はありませんか。



**A.** 変更はありません。学校の施設は、現行の「施設分離型」のままスタートし、来年度からの小中一貫教育により、学区の再編や進学先の変更はありません。施設については現在、多度地区において、小学校と中学校が「施設一体型」となった「小中一貫校多機能複合化事業」に向けて、地元の方や関係者と話し合いを進めています。

**Q.** 小学校6年間、中学校3年間というしくみに変更はありませんか？

**A.** 学年の区切りは、小学校6年、中学校3年の「6・3制」を維持します。また、学習指導要領に基づいて指導を行い、学習内容を先取りして学ぶことはしません。入学式や卒業式もこれまで通り行います。

### 急速な社会状況の変化

～人生100年時代の到来・人口減少・高齢化の進展～

- ◆医療体制の充実、医学の進歩等により、平均寿命は著しく伸長する。
- ◆生涯に2つ、3つの仕事を持つ。
- ◆日本の人口は、2060年に約9000万人まで減少。4割が65歳以上。
- ◆経済が縮小し、税収入が減少するなど社会全体の活力が低下する。
- ◆環境、平和、エネルギーなど、個人では解決困難な課題にあふれる。



こんな予測がされています

～急速な技術革新～



※AI・・・人工知能

- ◆AIやロボットなどの活用
  - 新しいアイデアが生まれ、社会や生活が変化する。
  - 新しい仕事生まれ、働き方が変化する。

すでに変化が出てきています

### これから求められる力と学び方 ～改訂された学習指導要領では～

主体的・対話的で深い学び

「何を学ぶか」だけでなく  
「どのように学ぶか」も重視して授業を改善する

子どもが仲間と対話しながら自ら考え、学び取っていく授業スタイルが基本です。

覚えるだけでなく！

学んだことを人生や社会に  
生かそうとする  
学びに向かう力  
人間性

実際の社会や生活で  
生きて働く  
知識  
技能

未知の状況にも対応できる  
思考力  
判断力  
表現力

考える力を！

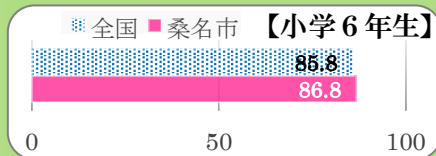
何ができるようになるか

こうした力を1学年単位でなく、義務教育9年間を見通して子どもたちにバランスよく育むことが求められています。

※学習指導要領・・・文部科学省が定める教育課程の基準



学校に行くのは楽しい



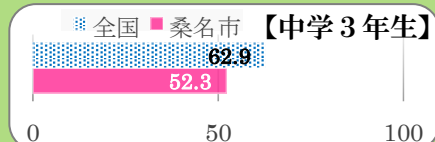
自分にはよいところがある



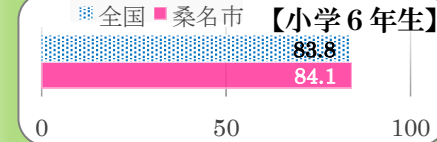
国語の授業で目的に応じて自分の考えを話したり書いたりしている



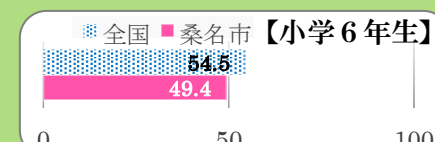
英語で自分の考えや気持ちを伝え合う活動が行われていたと思う



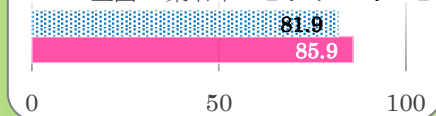
将来の夢や目標を持っている



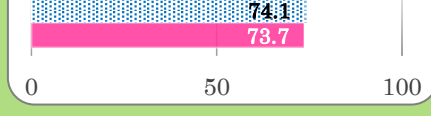
地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある



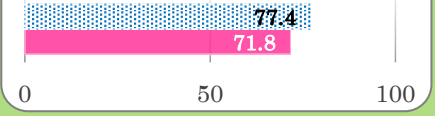
人の役に立つ人間になりたい



自分にはよいところがある

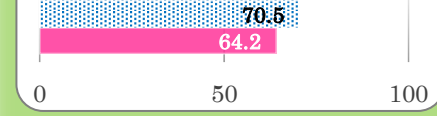


国語の授業で目的に応じて自分の考えを話したり書いたりしている

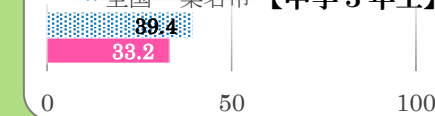


国語や英語など、言葉を通じて自分の考えを表現する力を育成していく必要があります。

将来の夢や目標を持っている



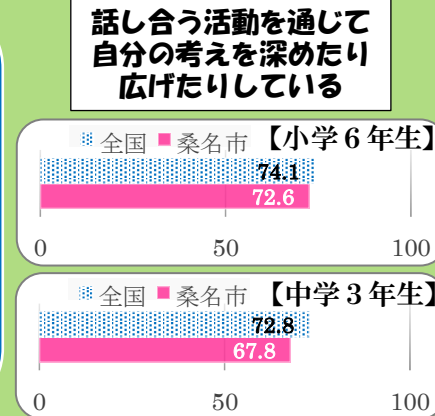
地域や社会をよりよくするために何をすべきか考えることがある



この3つの項目は、桑名の子どもたちの意識が比較的高く、強みです。さまざまなことにチャレンジしようとする原動力につながります。

本市では、このデータのような桑名の子どもたちの強みを生かしながら、学習に対する意識や姿をよりプラスの方向へ導き、変化の激しい社会を生き抜いていくための力を身に付けさせていかなければならないと考えます。  
そこで、小学校の学習指導要領が変わる来年度から、義務教育9年間の「学び」と「育ち」をつないでいく**小中一貫教育**を導入します。

本市では、夢をもち、その夢に向かって努力する子を育成したいと考えています。子どもたちが学ぶ意欲をもち、学び方を習得していくことによって、今学んでいることが自分の実生活や将来とつながっているという実感がもてるようにしていく必要があります。



桑名が目指す小中一貫教育 **A** **B** 「3+3の取組」

**A** 小・中学校が足並みをそろえて授業を改善していきます

「子どもが主役の授業」を展開！

- 自分の考えを持つために、じっくり調べ、考えます。
- なかまの考えを聞き取り、自分の考えと比べながら、考えを深めます。
- 自分の考えを発表したり、学習したことをまとめて表現したりします。

**ICTの効果的活用！**

※ ICT・・・情報通信技術

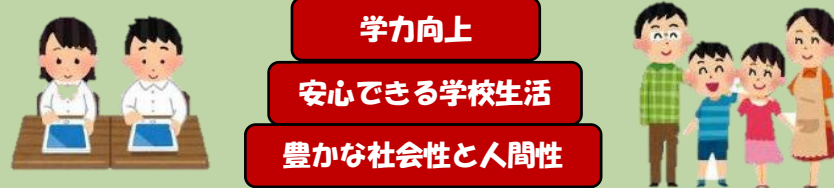
- タブレットやプロジェクター等の活用によって学ぶ意欲を高め、子ども同士の効果的な学び合いを創り出し、豊かな表現活動につなげます。

**言語活動の充実！～国語・英語を中心として～**

- 自分の考えをまとめ、対話し、書いて表現できるように国語を要としてあらゆる教科・場面で「読む」「書く」を大切にします。
- 桑名市英語教育プランを活用して、9年間の学びをつなぎ英語を使って互いの考えを伝え合う活動を充実させます。



将来の自立、よりよい社会づくりへの貢献へ



一貫 → 授業の改善・子ども一人一人を大切にした教育



すべての教育の基盤としての人権教育

地域とともにある学校づくりの推進

**B** チームで、子ども一人一人のよりよい学びをつくり出します

**1** 小学校高学年からの一部教科担任制の導入！

- 複数の教師による子どもたちの学びの状況を把握します。
- 小・中学校間の円滑な接続を図ります。

**2** 個性を伸ばす生徒指導の充実！

～子どもたちの自主的な活動を大切に～

- 自分たちで学校を楽しく、よりよくしようとする子どもたちの発想や活動を大切にします。
- 教師や保護者など多くの連携によって、子どもの様子の変化や不安の早期発見、早期対応に努めます。

**3** 途切れのない支援・特別支援教育の充実！

- 子ども一人一人に応じた適切な指導・支援をします。
- 小中9年間を一貫し継続した指導・支援を図るための必要な情報を小中間で確実に共有します。

